

報道関係各位

令和8年3月19日  
一般社団法人 横浜港振興協会  
担当課長 木村友之

## 【横浜港見学会 特別企画】

クルーズ業界のプロが船上で外国につながる子どもたちに  
向けた講義を行います

横浜港振興協会（会長：藤木幸夫）は、市民の皆さま（子ども含む）に海や港を身近に感じながら、横浜港が市民の生活を支える大切な役割を担っていることを知っていただき、港湾への理解を深めていただくことを目指し、横浜港見学会（※）を実施しています。

参加する子どもたちは、海や港の様々な仕事、多様な働き方を知ることができ、将来を思い描く貴重な機会にもなると考えています。

横浜市内には外国につながる子ども・若者が多く、特に多い中区においては、なか国際交流ラウンジ（横浜市国際交流協会が運営）が若者の人材育成に取り組んでいます。その取組のひとつとして、今回横浜港見学会に参加（観光船乗船コース）することになりました。

横浜港振興協会がクルーズ等の専門学校にお伝えしたところ、船内で、外国につながる子どもたちに向け、クルーズ船の仕事など海や港での仕事を紹介し、将来を思い描くきっかけとなるよう、クルーズ業界のプロに講義をしていただくことになりました。

※横浜港見学会は、横浜市港湾局の「横浜港理解促進事業」を受託して実施しています。

**実施日** 令和8年3月27日（金）**申し込み** 14:15 マリーナルージュ乗船（14:30 出航）

・講義「横浜港とクルーズの魅力」（横浜港振興協会職員）

・港内見学

・講義「クルーズ船等でのさまざまな仕事」（久次米 一聡 氏）

15:30 下船 ※乗下船場所は、ピア赤レンガ

**参加者数** 約50名（なか国際交流ラウンジが支援している子ども等）**主催** 一般社団法人 横浜港振興協会**共催** 学校法人ホスピタリティ学園

エアライン・鉄道・ホテル・テーマパーク専門学校東京 クルーズ科

**協力** なか国際交流ラウンジ（公益財団法人横浜市国際交流協会）

Y Cruise株式会社（マリーナルージュ運航）

**久次米 一聡**

（くじめ かずとし）

クルーズマジック  
合同会社 代表

（略歴）東京商船大学（現：東京海洋大学）商船学部航海科卒業。

商船三井客船株式会社で「こっぴん丸」他数隻、郵船クルーズ株式会社で「飛鳥II」にそれぞれ乗船。通算6回の世界一周クルーズ乗船経験あり。

船上での現場実務に加え、本社にて外国人教育、ホテルマネジメント、船員管理、公衆衛生管理等、ハード・ソフト両面、海陸からクルーズオペレーションに深く関わる。

## ＜参考＞

外国につながる子ども・若者の多くは、言語の習得や学習、学校・文化への適応等、様々な困難に直面しながら、乗り越えるために努力している一方で、義務教育を終えた先に不安を抱き、将来に希望を持たずに暮らす方も少なくないと言われています。

母国語・日本語など多言語を使えるスキルを自身の強みと感じていただき、世界につながる海や港で活躍することを将来の視野に入れていただきたいと思います。まずは、「クルーズ」をきっかけに海や港の仕事に関心を持っていただきたいと思います。

お問い合わせ先

一般社団法人 横浜港振興協会（POP YOKOHAMA） 〒231-0002 横浜市中区海岸通 1-1

電話：045-671-7241 FAX：045-671-7350 E-MAIL：info@yokohamaport.org